

群馬県感染症発生動向調査情報（週報） 【富岡保健所Ver.】

令和5年第30週（令和5年7月24日～7月30日）

令和5年8月3日

富岡保健所

腸管出血性大腸菌感染症（O157など）に注意しましょう！！

【群馬県の流行状況】

- ・今年第30週（～7月30日）までに **69件** の報告がありました（昨年同時期は55件）。例年、気温の高い初夏～秋にかけて多く報告されています。
- ・富岡保健所管内でも第30週までに **4件** の報告がありました（昨年同時期は0件）。

【どういった感染症なの？】

- ・毒素を産生する腸管出血性大腸菌（O157など）によって引き起こされる感染症です。
- ・少ない菌量でも感染し発症するため、家族や集団生活の中で感染が拡大することがあります。
- ・抵抗力の弱い高齢者や乳幼児が感染すると、重症化することもあります。他県の児童福祉施設では集団感染がありました。
- ・菌が身体の中に入ってから、多くは3～5日後くらいに症状（下痢、腹痛、血便、発熱など）が出てきます。



【どこから感染するの？】

- ・汚染された飲食物（菌がついてしまった加熱不十分のお肉や生野菜）を口にしたり、患者の便を介することで感染します。



【予防や対策方法は？】

- ・ハンドソープと流水による手洗いを徹底する。特にトイレやおむつ交換のあとはハンドソープを用いて必ず手を洗う。
- ・生野菜はよく洗って食べる。また、肉の生食は避け、中心が白くなるまで十分に加熱調理（75度で1分以上）して食べる。
- ・箸やまな板などは、生肉用と生肉以外用とで使い分けるようにする。調理器具の洗浄と消毒をしっかりと行う。
- ・下痢や腹痛などの症状がある人は、医療機関を受診する。症状のある人は家族と一緒に入浴せず、可能であればシャワーやかけ湯で済ませます。



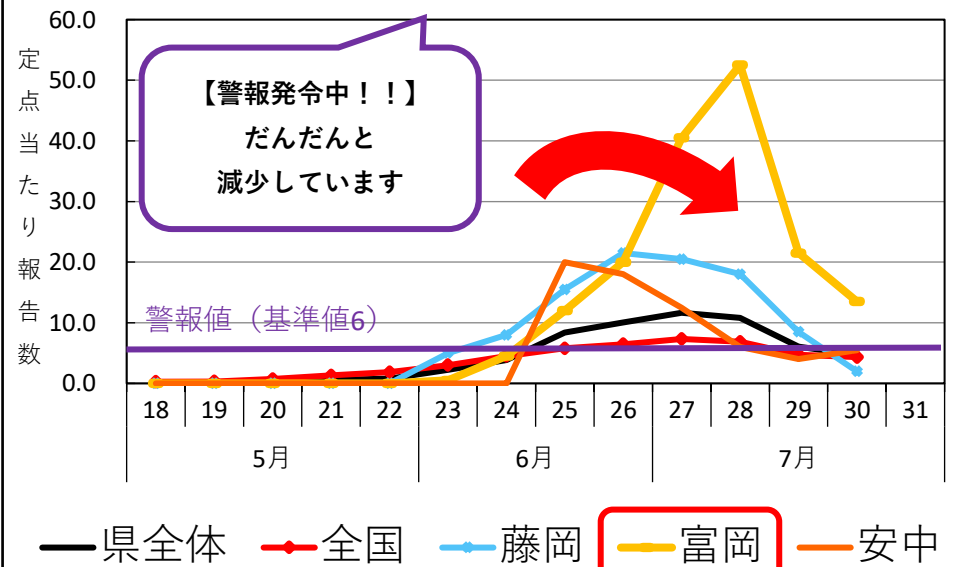
全数報告（富岡保健所管内）

- ・【3類感染症】腸管出血性大腸菌感染症 1件

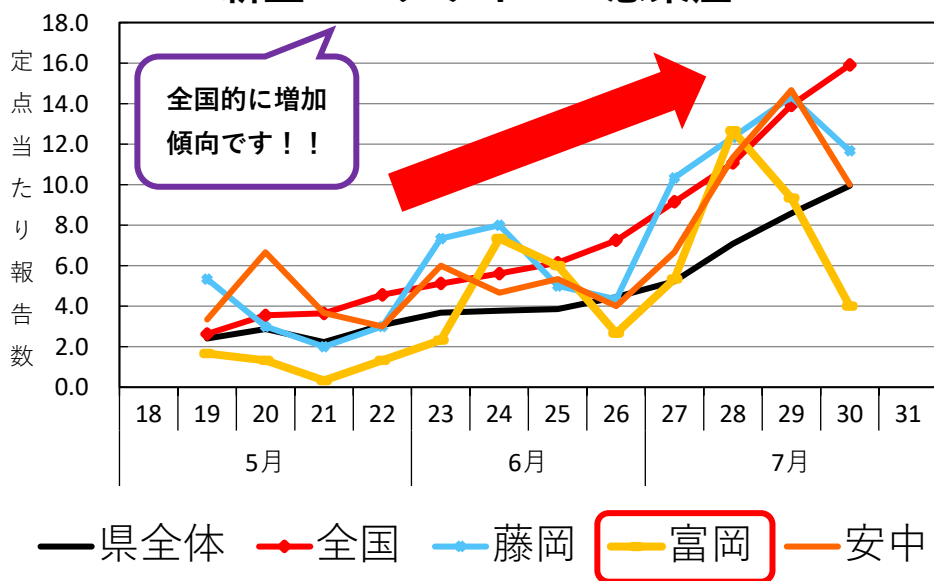


富岡保健所管内でも報告がありました！！

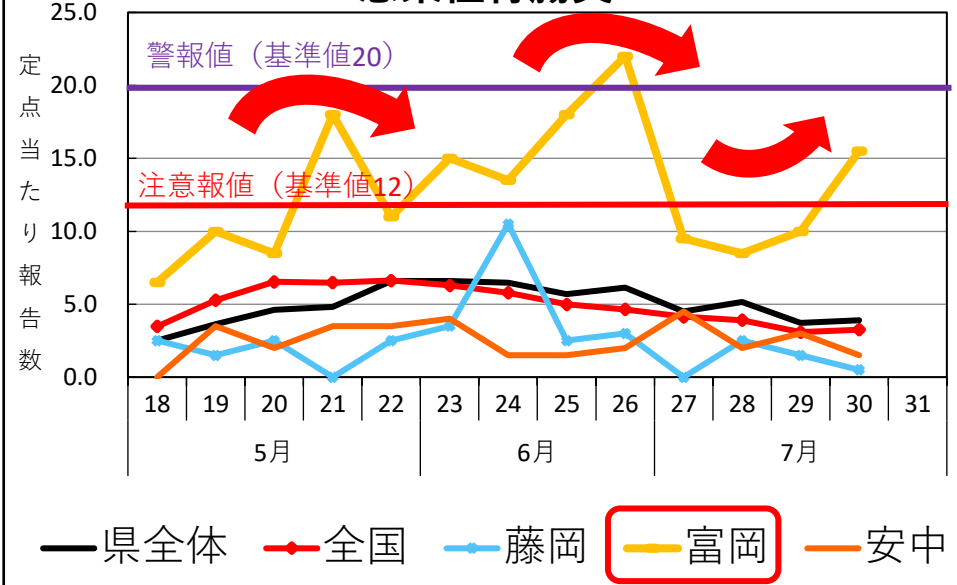
ヘルパンギーナ



新型コロナウイルス感染症



感染性胃腸炎



※感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査（群馬県）のデータを元に集計・作成しております

★その他の感染症の情報は群馬県ホームページで公開しています★

「群馬県感染症情報」で検索するか、以下URLもしくはQRコードからご確認ください。

<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>

